

追跡

— あの質問のゆくえ —

史料館(展示室)の設置を

町の歴史や文化の史料保存や集積展示・学習のための施設として、子どもたちに伝えていく為にも史料館(展示室)は是非必要だ。中央公民館リニューアルの一部として検討できないか。 平成23年6月

教育長
答弁

中央公民館 リニューアル構想のなかで考える

中央公民館リニューアル構想のなかで、2階に計画している展示室は、本町の季節別の風俗や習慣、時代別の生活の様子などを展示して学習できる場としても考えているが、中央公民館、図書館と合わせた中で検討していく。

どうなった



保管されている史料

平成23年当時、図書館・中央公民館については、リニューアルと新築の両方の計画案を作成し検討していました。

しかし、23年3月の東日本大震災により防災上の新たな課題に直面したことから、町では、24年に再配置計画を策定し、25年より役場庁舎を含めた防災機能を有する「まちづくり複合施設」の検討を進めてきました。

この中で、展示スペースとして1階の町民ラウンジやミーティングコーナー、2階のホワイエ(空間)などを想定していますが、ここでの歴史資料等の展示は難しい状況です。

資料館的な展示室については、既存の公共施設や建築物を有効活用する方向で検討していきます。

なお、図書館については、町の歴史や魅力を次世代に伝えられるよう史料等の充実をはかっていきます。

事業の検証と評価

現在は、貴重な史料等が有効に活用されていない状態である。

今後、既存の公共施設利用も含めて検討することであるが、明確に「白鷹町歴史資料館」として位置づけ、先人達が築いた白鷹町の歴史を顕彰すると共に、子どもたちの学習の場となるような施設になるように望む。

